

2025年 大阪・関西万博

日本での開催が20年ぶり6回目となる大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界各国から最先端の技術と英知が集結します。

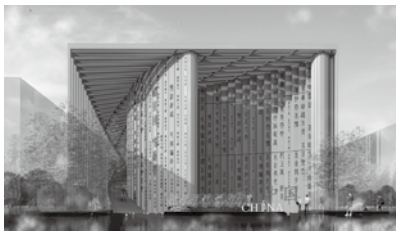
今月号では、数多くある魅力的なパビリオンの中から3つのパビリオンをご紹介します。



提供：2025年日本国際博覧会協会

おすすめパビリオン

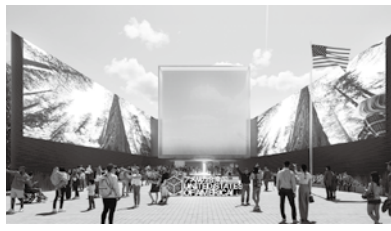
中華人民共和国



中国国際貿易促進委員会 (CCPIT) 提供

テーマは、「自然と共に生きるコミュニティの構築—グリーン発展の未来社会—」。外壁は、中国の伝統的な書道の巻物を広げた形がモチーフ。自然に由来し、自然に順応し、自然と調和して生きる中国文化を展示する。

アメリカ合衆国



Images credited to Trahan Architects

テーマは「共に創出できることを想像しよう」。わび・さびから着想を得た三角形の木造建造物2棟の上にライトアップされたキューブが浮かぶように置かれ、LEDスクリーンが米国を象徴する画像や名所を映し出す。

万博探訪記

観光サービス部会 **5/27** 参加者：73名

4月13日に開幕しました大阪・関西万博。視察日5月27日の来場者数は約14万人に達し、日々人気が高まっています。

入場口から少し歩いたら、見慣れてくると可愛い公式キャラクター「ミャクミャク」のオブジェが笑顔でお出迎え。シンボルの「大屋根リング」をくぐり、会場内を巡ります。

今回は二つのパビリオンを団体予約し、ご希望のどちらかに入館。そのうち「TECH WORLD」ではスマートプレスレットを装着し、生命・自然・未来の順に展示を見て回り、人の六感に動きかける演出を通じて多様性・寛容性といった価値観を体験しました。

メインテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」、短い滞在時間でしたが会場散策やパビリオン体験を通じてその一端を感じることができたのではないのでしょうか。



玉山デジタルテック



©Tamayama Digital Tech Co., LTD

「世界をつなぎ、より良い未来の暮らしへ」をコンセプトに、デジタル技術を用い、自然との共存・人とのつながり・輝きのちという未来社会ビジョンの実現を「生命」「自然」「未来」を結び付けた展示で表現します。

※詳細情報は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会のホームページをご確認ください。
(URL: <https://www.expo2025.or.jp/>)
右記二次元コードをご利用ください。

